

# コンテナ仮置場(通運デポ)の活用

## 実施主体

日本通運株式会社  
日本貨物鉄道株式会社  
日本フレートライナー株式会社

## 事業内容及び特徴

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の交通量抑制、平準化の促進に資するコンテナ仮置場(通運デポ)を活用した実証事業

## BEFORE

資料1 BEFORE

資料2 東京貨物ターミナル駅 出構経路と渋滞状況



## AFTER

資料3 AFTER

資料4 コンテナ仮置場(通運デポ)イメージ

## スケジュール

令和2年5月中旬から6月中旬にかけて8日間  
程度で実証実験を実施

## 効果

- ・オリパラ期間中、日中の都内主要幹線道路の交通量抑制
- ・他地域での大規模行事、規制時のモデルケースの構築
- ・共同化への取組み

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の交通量の抑制・平準化等の促進に資するコンテナ仮置場(通運デポ)を活用した実証事業

## BEFORE

列車到着後、貨車からコンテナをトラックに積み替えて着荷主の元へ配達。期間中の交通混雑が増加。主要道路である国道357号線は大規模な渋滞が予想



東京貨物ターミナル駅

東京ベイエリアゾーン  
江戸川・市川・浦安方面

### 想定所要時間

発地	着地	平常時所要時間(往路)	平常時所要時間(復路)	大会時所要時間(往路)	大会時所要時間(復路)	経路
東京貨物ターミナル駅	江東区新砂	41分	38分	1時間42分	1時間28分	一般道
	市川市塩浜1丁目	51分	32分	2時間7分	2時間14分	首都高
	船橋市西浦2丁目	39分	33分	1時間48分	2時間8分	首都高

※所要時間は「大会開催時の遅延等を考慮した所要時間・経路探索システム」により計算

**大会期間中は通常時の倍以上！！**

## 東京貨物ターミナル駅 出構経路と渋滞状況



駅構内から国道357号線に出るまで平常時で10分から15分かかり、海上コンテナ輸送車が待機すると30分以上かかる大渋滞が発生する。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の交通量の抑制・平準化等の促進に資するコンテナ仮置場(通運デポ)を活用した実証事業

AFTER

到着したコンテナを、交通量の少ない夜間にコンテナ仮置場へ中継し、一時保管。翌日日に集配車に積替え、着荷主の元へ配達。



コンテナ仮置場を新砂に設置した場合の所要時間

発地	着地	平常時所要時間(往路)	平常時所要時間(復路)	大会時所要時間(往路)	大会時所要時間(復路)
江東区新砂	市川市塩浜1丁目	32分	35分	43分	42分一般道
	船橋市西浦2丁目	40分	42分	51分	48分一般道

※所要時間は「大会開催時の遅延等を考慮した所要時間・経路探索システム」により計算

**大幅な時間短縮！！ 国道357号線の車両抑制効果**

## コンテナ仮置場(通運デポ)イメージ

